

平成31年3月15日

大津市議会議長
中野治郎様

大津市議会政策検討会議
座長 草川 肇

政策検討会議（若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり）
に係る報告及び執行機関への提言について

「若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり」の構築に向けた政策検討会議については、昨年度に政策検討会議を設置して以降、主に「若者の議会、政治への関心を高める」、「若者の投票率を向上させる」の二つのテーマについて検討を進めてきたものであります。

検討にあたっては、大学生や高校生との意見交換会を踏まえ、多くの若者に共通する「政治との距離感」や「選挙教育」などの課題解決について、執行機関との議論や議会として主体的に取り組める事項の協議を行ってきました。

議会として主体的に取り組める事項として、「夏休みを活用した議場見学会」、「議員の学校訪問」を企画したところであります。また、高橋議員が実践してこられた「小学校での模擬議会」を見学し、学校、教育委員会、議会による連携した主権者教育の重要性を再認識したところでもあります。

今期においては、当政策検討会議メンバーにより平野小学校への訪問を実施しましたが、若者に政治への関心を高めてもらう意味から来期においても、「議場見学会」や「議員による学校訪問（授業）」等の議会全体として実施していくことや学校に選択してもらいやすいプログラム作成について、引き続き議会として取り組んでいくべきであります。また、大学生を含めた若者との意見交換の場についても、定期的に設け、若者の考えを市政に反映させていくことも必要であります。さらに、執行機関への提言内容について、市議会として検証を行うことも重要であります。

については、「若者の議会・政治への関心を高める」ため、次期ミッションロードマップの策定にあたっては、議会が主体的に取り組める事項について、引き続き継続されるよう申し送ります。

次に、「若者の投票率を向上させる」では、投票環境の改善や主権者教育の充実、さらなる選挙啓発の取り組みが必要であることから、別紙のとおり執行機関へ提言します。

いずれにしても、若者の議会、政治への関心を高め、投票率を向上させるためには、市議会をはじめ関係者の連携のもと、継続した取組が今後も必要であると結論付け、報告いたします。

提 言 書

(若者をはじめとした市民の政治への関心の高揚及び投票時の利便性向上に向けて)

平成31年3月

大津市議会

【提言書】

本市議会では、議会版実行計画である大津市議会ミッションロードマップのテーマの一つとして、「若者の議会への関心と投票率向上の仕組みづくり」を掲げています。

当テーマについては、学生をはじめとする若者の政治に対する関心や興味の低さ、低投票率の状況を踏まえ、市政や議会への関心と投票率の向上を図るため、これまでの取組の検証をはじめ、議場見学などより市民ニーズを反映するための方策やIT等を活用した多様な仕組みを創出するため、平成29年6月に、政策検討会議を立ち上げ、これまで検証や議論を進めてきました。

また、大学生や高校生との意見交換会を実施する中で、「政治との距離感」や「選挙教育」などの課題を共通認識し、課題解決に向けた方策について、大津市教育委員会や大津市選挙管理委員会とも意見交換を行ってまいりました。

しかしながら、投票率の向上につながる特効薬はなく、地道に諸施策に取り組んでいかなければなりません。

については、執行機関におかれましては、財政状況や働き方改革などの諸課題に留意する中で、若者をはじめとした市民の政治への関心の高揚、投票時の利便性向上の観点から、下記について今後一層の取組みを推進されるよう提言します。

〈提言内容〉

- (1) 学校現場、教育委員会、選挙管理委員会連携のもと、発達段階に応じた主権者教育の一層の推進。
- (2) 投票者の利便性向上と投票の公正性、公平性の観点から、現行の期日前投票所の維持及び市全体のバランスを考慮した商業施設等での期日前投票所設置推進。
- (3) 投票者の利便性向上の観点から、共通投票所の設置に向けた検討。
- (4) 若者の政治参加意識の高揚のため、若者を対象とした啓発活動の充実や若者を投票立会人・投票事務従事者として参画（活用）するための計画的取組。